



2020年11月15日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島見子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS

11



仙台市指定管理児童館

— New Normal と児童館活動 —

ご周知のとおり、今年には新型コロナウイルス感染症防止対策に翻弄された上半期となりましたが、下半期に入り仙台市の方針も少しずつ来館促進の方向に進みだし、新しい生活様式に沿った館運営をはじめています。そのような状況下での3館の活動の工夫をお知らせします。

★仙台市西山児童館

「でもね僕らは未来の担い手」

館長 伊藤雅宣

自由来館停止、YMCA特別活動中止、児童館祭り、公共交通機関利用自粛・・・西山小・中学生ボランティア「ニシヤマセブン」の活躍の場は悉く打ち砕かれて・・・と、嘆いてばかりいてもと思い、自転車活動を子どもたちに提案してみました。

先日10月31日(土)に、泉区七北田公園を旨し自転車走らせました。少人数でのグループ走行、「歩行者注意です!」、「段差があるよ〜!」指示と手信号を後方に伝えながら安全第一で向かいます。現地では石でかまごを組み、空き缶でご飯炊きを行いました。セブン単独の活動はボランティア育成の研修という位置づけで実施しています。

活動で得たスキルや社会性が低学年活動引率や諸活動に活かされること、延いては地域、未来の担い手へと成長していくことが願いです。

(第2面に続く)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に伝えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

★ 仙台市富沢児童館 ★

「大切なものは変わらない」

館長 郷古祐子



富沢児童館は、今年度10周年を迎えました。

最近、乳幼児・小学生・中高生が一日に200名以上来館する児童館となりました。しかしコロナ禍の中で、運営方法が一変。現在の乳幼児支援は、来館者の連絡先等を記入後、人数制限の中、学童保育が始まる前の12時までの運営となっています。乳幼児親子向け行事は、現在週に1回程度しか行うことができません。

利用制限の中でも、地域の子育てに大切なものは変わりません。このような時だからこそ、安心して児童館に来館できる工夫をしています。消毒作業を来館者や職員が誰でもできるようにしたり、密にならないように遊具の置き場所も年齢別に広げていたりしています。利用者の方との時間を大切に、職員それぞれが、たくさん声をかけあうことで「孤立しない子育て」を目指します。

児童クラブでは、毎年ハローハロウィンという行事を行っています。子どもたちが仮装し、地域のご協力のもとご自宅やお店等を訪問させていただいているのですが、今年は残念ながら中止といたしました。そのような中で、地域の方々と繋がれることはないかと考えたのが、ハロウィンカード作りです。4年生が中心に作ったカードは、黒猫や星空の絵などが添えられた可愛らしいものになりました。

その後、地域にカードのプレゼントがまわると、「来年はできるといいですね」「何か困ったことがあったら言ってね」など励ましの言葉をいただきました。感染症予防に努めながら、ときに悩みながらいる私たちにとって、感謝の気持ちと同時にほっと気持ちがやわらぐようでした。今後も地域の方々と繋がりを大切にしながら、子どもたちが安心していられる居場所づくりに努めてまいります。



★ 仙台市旭ヶ丘児童館 ★

「地域の方との繋がりを大切に」

副館長 佐藤由香理

「こんな時」だからこそ

2020年3月にWHOが「パンデミック」を宣言してから、混乱が続いています。その中で「不要不急」という言葉が耳につくようになりました。たくさんの方が、実は「不要不急」だったことを、私たちは知らされた半年だったと思います。

仙台YMCAクリスマスは、今年、「第49回」となります。もう半世紀も、仙台圏に住む留学生を対象に、この会は続けられました。50年前の仙台を想像します。そのころはおそらく、まだ「船」での来仙だったと思います。つまり、「一度帰国したら、もう、簡単は戻れない」。そして、まだまだ「外人」は珍しい時代だったはず。だから、留学生たちは、あるいはきっと、寂しい年末年始を過ごした。そうしたことを思って、この催事は開かれたのだと、先輩から聞きました。

今、パンデミックになり、人の集まりが制限されるようになりました。でも、パンデミックになって、留学生たちはまた再び、「50年前」のような寂しさを感じるようになった、かもしれません。とりわけ、「外人がクラスターになった」という評判も、聞こえてくる今なのです。仙台YMCAクリスマスは、「不要不急」では決していない、と、そう思うのです。「すべての人がよろこびと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努める」ことを使命とする私たちです。なんとか、「第49回仙台YMCAクリスマス」を成功させたく思います。ご助力を賜れば本当に幸いです。

Column



川上直哉さん

第49回仙台YMCAクリスマス
実行委員会委員長
石巻広域ワイズメンズクラブ



Column

高橋 祐子
仙台YMCA幼稚園・園長



幼稚園生活に保護者の方が求めることはどのようなことでしょうか？

「友だちが作れるようになって欲しい」「集団生活の経験をして欲しい」などの他に「小学校に行く前に色々なことを覚えてきて欲しい」「将来困らないようにして欲しい」という期待を持つ方も多いと思います。しかし、幼児期は将来のための準備期間ではありません。大人になるための準備に使うかもしれないのももったいないと私たちは考えます。その時期にしか感じられないこと、体験して欲しいことがあります。道端に落ちていた木の実を拾ったり、高いところに登ってみたり、友だちとけんかをしたり、大人から見たら理解できない行動も幼児期だからこそ挑戦できたり、そこから学ぶことがたくさんあります。毎日のようにしている砂場遊びでは砂の型抜きをする時の水と砂の配分によって仕上がりが違うことに気づき、どのくらい坂道を作れば水が流れていくかなど何度も上手くない経験を経験しながら学んでいきます。

キノコが大好きな年中児の男の子がいます。毎日登園途中の道や幼稚園の敷地内にキノコがないか、先日は運動会の会場でも探していたほどです。どんな名前のキノコがあるのかお家で調べ、みんなに教えてくれるその姿が自信に溢れ、見ていてとても嬉しくなります。同じ種類のキノコ

でも毎日大きさが違っていたり、晴れの日は続いているとなくなってしまうこともあり、日々の観察から発見することができました。また、先日は年長児の男の子が20cmの定規を持って色々な物の長さを測っていました。ブロックや折り紙、自分の足や手のひらなどを次々と測り、「もう楽しくて止められない。」という様子でした。少し経つと「これも10cm、そしてこれも10cm」と同じ長さの物があることに気づき、「このブロックとこのおもちゃの長さは同じだな。」と何度も比べてとても興奮していました。その日のお迎えの際に保護者の方と話をすると、お家で身長を測れる物を出したばかりとのことでした。それをきっかけに長さを測ることに興味を持ったのだらうと思います。子どもが「長さ」に出会った瞬間のあのわくわくした表情を見ることができてとても嬉しく思いました。



「みんなで虫の観察」

人間関係の学びもあります。ただ傍にいて嬉しいう、周りの人は自分のことを好きに違いない、幼児は純粋な心で、肯定的な想いの中で人との関わりを学んでいきます。毎日の幼稚園生活の中で人と関わることで、けんかをしたり、嫌な想いをしたりすることもありますが、でも少し経てば仲直りをし、嫌な気持ちを変えることができることを繰り返しの体験の中で学んでいきます。また、自分が嫌な想いをした分、同じ想いをしている友だちをなぐさめることもできるようになります。もっと成長してから初めてこのような体験をすると深く傷つき、気持ちを回復させることが難しい場合もあると思います。幼児期だからこそ色々な想いをするのが大切なのです。このように毎日の生活の中で学びのタネがたくさんあります。テキストから学んだことではなく実体験としての学びをおして子どもたちは心身ともに成長していきます。

たっぷりとのめり込む時間がある、それを見守ってくれたり、手伝ってくれたりする人が周りにいる、嫌な気持ちになった時は励ましてくれる人が傍にいる、そのような環境を作ってあげるだけで子どもたちは自分から育っていくことができるのです。早いうちに知識を詰め込むのではなく、幼児期にしか感じることでできない体験ができるよう、幼稚園ではこれからも環境作りを続けていきたいと思っています。

保護者の方は、子どもが登園時に不安になって泣いたり、歩いている時、寄り道をしてなかなかたどり着かず時間の無駄のように感じることもあったり、友だちに意地悪をされたと言ってきたり、悩んだり不安になることもあるかと思えます。でも、子どもたちが育つうえで無駄なことは1つもありません。「ネットで調べればすぐになんでもわかる」「人と直接会わなくてもやりとりができる」そんな時代でも、幼児期の生活はこれからは変わらせずに、大切な時間や環境を守ってあげたいと思っています。

第23回 仙台YMCAチャリティゴルフ 実施報告

10月15日(木)泉国際ゴルフ倶楽部にて第23回仙台YMCAチャリティゴルフが開催されました。当日は天候にも恵まれ、参加者は暖かな日差しの中で気持ちよさそうにラウンドされていました。

チャリティゴルフの開催にあたり「水の事故から子どもたちの安全をまもる」という趣旨をご理解いただき、今回は65名の方々が参加してくださいました。当日の運営はチャリティゴルフ実行委員により、スムーズに進行されました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、表彰式を中止し遠方からの参加をご遠慮いただくなど、例年とは異なる形での実施でしたが皆様のご協力のもと、たくさんの協賛品が寄せられ、参加者の皆様に喜んでいただくことができました。

皆様のご協力に支えられ、イベントが無事に終了できましたことに、心より感謝申し上げます。



総合

優勝 佐藤 秀一 様
準優勝 小倉 毅 様
第3位 武山 東 様



女性の部

優勝 福田 佑子 様
準優勝 千葉 久子 様
第3位 片山 加代子 様

ベストグロス賞 さとう 宗幸 様

【協賛・協力】

岡本 由明、池上地久子、木村長門、河合良紀、瀬谷優介、吉田紘子、山野高、菊地弘生、藤岡由紀、村井伸夫
泉国際ゴルフ倶楽部、さとう音楽事務所、(株)泉タクシー、ボディケアサロンHANDS ON、(有)佐々木保険事務所
(有)親愛社、村上法律事務所、(株)岩手ホテルアンドリゾート、一般社団法人シャロームいしのまき、篝火の湯 緑水亭
(株)アスリンク、イワタニセントラル(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、けやき会計事務所、Chubb損害保険(株)
(有)ユニバーサルライフ、(有)新生ホンダ、(株)いしかわ、集合郎、(株)建設新聞社、(株)阿部和工務店
アストモスリテイリング(株)、東北カンパニー、(株)井上建築工房、(株)スイングアカデミー宮城、Y M C A 加茂保育園
仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブ、仙台広瀬川ワイズメンズクラブ (順不同・敬称略)

【使 途】

- ① 『Y M C A ウォーターセーフティーハンドブック 2021』 を贈る資金 300,000円
- ② 第51回 全国ユースリーダー研修会参加費用助成 30,660円
- ③ 仙台Y M C A 子ども支援募金 41,736円



報告：佐久間 渉

維持会費

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

(10月1日～10月31日)

◆一般会員

・維持会員 A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 松田 美彰 さん 伊勢 文夫 さん 小山 憲彦 さん